

# TOPICS

## 「ネパール-ジャパン フレンドシップ パーティ」に参加しました

9月25日に大阪市公館にて駐日ネパール大使館の主催で「ネパール-ジャパン フレンドシップ パーティ」が開催されました。AAFからは赤尾代表他2名が参加し、ガネシュ・ヨンザン・タマン駐日ネパール大使をはじめ、多くのネパールの方々にAAFの活動を紹介し、交流を深めました。

ネパールの民族音楽やネパール料理を楽しみながらの、有意義なひと時でした。



パーティの様子



タマン駐日ネパール大使（中央）と赤尾代表（右端）

Buddha Primary & Secondary Schoolの開校以来、徒歩しか交通手段のないこの地域で遠方から通う子供たちのための寄宿舎の計画を進めてまいりましたが、ようやく本年5月に2期工事として寄宿舎3棟と、食堂棟、便所棟が竣工しました。5月11日に竣工式を行い、来賓、村人、教師、子供たちと完成を祝いました。

中でも食堂棟はネパール初(?)の円形の石造建築で、キャンパスの中でもみんなが集まるシンボル的な建物となっています。現在3期工事(寄宿舎2棟、教師宿舎棟)を計画中ですが、ゴルカ北部では近年水力発電所や吊橋工事等の開発が進んでいるため、人件費が年々高騰してきており、全て完成させるにはあと約500万ルピー(約600万円)必要です。



竣工式の様子（食堂棟にて）

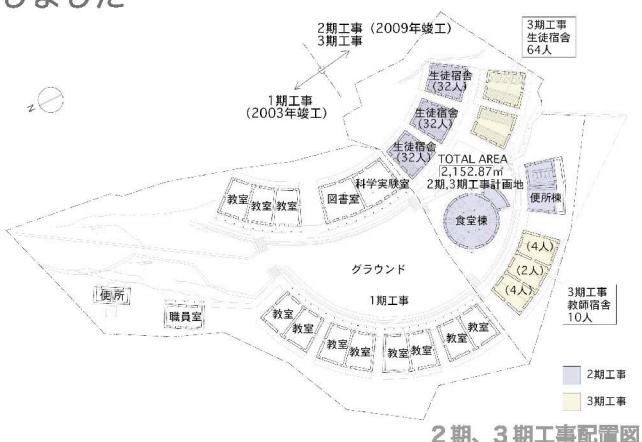


寄宿舎

## SITE REPORT

from Philim in NEPAL

### フィリムの2期工事(寄宿舎他)が竣工しました



食堂棟

# INFORMATION

## AAFの2010年カレンダーができました

今回のテーマは“THE ROUTE TO PHILIM”。車が通れなくなるソティという村からAAFが支援したフィリムのBuddha Primary & Secondary Schoolまでの道程の村を毎月紹介していきます。ご希望の方は同封の払込取扱票の通信欄に「カレンダー希望」とご記入の上、1口1000円+送料(下記参照)の寄付をお願いいたします。寄付1口につき、カレンダーを1部お送りさせていただきます。



卓上型・CDケース入り  
サイズ 12.5cm×14.1cm×0.9cm

### >>> 送料

1口200円、2口240円、3~4口390円、5口以上580円

## AAF会員を募集しています

AAFの活動は多くの皆さまからのご支援・ご協力によって成り立っています。

会員制度は活動の主旨にご賛同いただき、継続してご支援いただける方にAAFの会員になっていただき、その会費を支援活動の資金に充当する制度です。会員はAAFの活動における資金ボランティアと位置付けられ、具体的な活動やその他の責任は求められていません。会員になっていただいた方には会報「AAF NEWS」をお送りさせていただきます。

ぜひとも多くの皆さまの入会をお待ちしております。

### >> 入会方法

払込取扱票の通信欄に「入会希望」とご記入の上、郵便振替にて下記の会費をお振込ください

### >>> 会費

一般会員：1口 5,000円（年額）

法人会員：1口50,000円（年額）

## AAF PROFILE

### AAF (Asian Architecture Friendship)

1998年、竹中工務店大阪本店設計部の有志を中心に発足した民間ボランティア団体です(2000年にAAFと改名)。

建築を専門とする職能を活かして、ネパールのフィリムでの学校建設(2003年竣工)を皮切りに、アジア地域の開発途上国における学校等の施設建設支援を中心とする活動を行っています。

### AAFの活動と実績

- 2003.04 ネパールのフィリムに'Buddha Primary&Secondary School'竣工
- 2005.04 「ヒマラヤに学校を建てよう！建築家のボランティア奮闘記」(彰国社)を出版
- 2005.07 「AAFのNGO活動—ヒマラヤの学校建設ー」展を開催(ギャラリー エークワッド／東京)
- 2006.04 こども環境学会賞活動奨励賞受賞
- 2006.08 日本ネパール女性教育協会との提携によるカニヤ・キャンパスポカラ「さくら寮」竣工
- 2006.10 「パラレル・ニッポン 現代日本建築展1996-2006」(東京写真美術館)に出演
- 2007.05 日本建築学会賞(業績)受賞
- 2008.08 フィリムの学校、ポカラの「さくら寮」がイタリアの建築雑誌'domus'に掲載
- 2008.08 フィリムの学校が韓国の建築雑誌'C3'に掲載
- 2008.08~ 国際巡回展「地球にやさしい建築展」に出演
- 2008.10 フィリムの学校がタイのデザイン雑誌'art4d'に掲載
- 2009.05 フィリムの2期工事として寄宿舎(3棟)と食堂棟、便所棟が竣工
- 2009.10 フィリムの学校が第11回国際石材建築賞を受賞  
現在3期工事(寄宿舎2棟、教師宿舎棟)に向けて支援活動継続中

### アジアに学校等をつくるための 寄付にご協力ください

AAFは、学びたくても学ぶことができないアジアの子どもたちのために学校と寄宿舎等の教育関連施設をつくるボランティア活動を推進しています。現在、2003年に開校したネパール・フィリム村のBuddha Primary & Secondary Schoolの隣接地に遠隔地から通う子供たちのための寄宿舎の建設を進めています(2期工事は本年竣工: SITE REPORT 参照)が、この地域の開発とともに人件費が年々高騰し、必要数の寄宿舎、教員のための宿舎をすべて完成させるためには、現時点であと約500万ルピー(約600万円)の建設資金が必要となっています。  
皆さまのさらなるご支援・ご協力をお願いいたします。

### >>> 寄付の方法

払込取扱票の通信欄に「寄付」とご記入の上、郵便振替にてお振込ください

### AAFへの郵便振替は下記口座にお願いいたします

>>> 口座番号 :00910-0-64819

>>> 加入者名 :AAF基金

※払込取扱票には住所・氏名・電話番号を必ず記入してください

※電子メールをご利用可能な方はE-mailアドレスを併記ください

※個人情報はAAF基金運用の目的以外で使用いたしません

### 編集後記

おかげさまで2期工事が竣工しました。1期の教訓を活かして、少しはスムーズにいった気がします。住民の教育に対する思いが大きくなつたことも一因でしょう。次は先生の宿舎です！ T

# AAF NEWS

VOL.5

2009  
AUTUMN

ご協力をいただいたみなさまにAAFの活動をお知らせします

## CONTENTS

### NEWS

### TOPICS

「ネパール-ジャパン フレンドシップ パーティ」に参加しました

### SITE REPORT

フィリムの2期工事(寄宿舎他)が竣工しました

### INFORMATION

AAFの2010年カレンダーができました

### AAF PROFILE

AAF Asian Architecture Friendship



Buddha Primary & Secondary School/2期工事の竣工式に集まった村人、教師と子供たち

## NEWS

「フィリムの学校」が第11回国際石材建築賞を受賞しました

2003年春にネパールのフィリムに竣工しましたBuddha Primary & Secondary Schoolに第11回「国際石材建築賞」( International Award Architecture in Stone)が授与されました。

>次ページに詳細を掲載

# NEWS

## 「フィリムの学校」が第11回国際石材建築賞を受賞しました

2003年春にネパールのフィリムに竣工しましたBuddha Primary & Secondary Schoolに第11回「国際石材建築賞」( International Award Architecture in Stone 2009)が授与されました。

「国際石材建築賞」は1987年に創設され、世界の優れた石材建築に隔年で授与される世界的な建築賞です。ここ数年に世界で建築された石材を用いた作品が約30件候補として選ばれ、その中から5件が表彰されました。

賞の運営団体はイタリアの大規模な展示会の企画・開催を行う「ペロナフィエラ」。9月30日～10月3日にイタリア北部ヴェローナで開催される世界最大級の石材建築見本市「マルモマック(\*)」(MARMOMACC)の場で作品展が開催され、10月3日に表彰式と受賞講演が同じくヴェローナのカステル・ベッキオ美術館にて行われました。日本の建築家では過去に磯崎新氏(1987、1997)、隈研吾氏(2001)の2名が受賞しています。また10月5日には審査員の1人であるフェラーラ大学建築学科のパヴァン教授の招聘により、AAFの赤尾代表がフェラーラ大学にて、ネパールの現状とAAFのボランティア活動について、特別講義を行いました。



マルモマック会場



AAF の展示ブース



カステル・ベッキオ美術館での授賞式の様子



受賞講演



フェラーラ大学での講義



パヴァン教授（左から二人目）と

(\*)マルモマック:イタリアの技術革新産業省とガリシア商工会議所の協賛により、50カ国以上の参加国から石材産業の伝統的な技術・新世代技術について1000以上の出展がある石材建築関係の見本市。期間中の入場は5万人を超える。